

令和7年度就職等自立支援セミナー事業報告書

令和7年度セミナー実績

	実施日程	セミナー名	担当	参加(町内)
1	7月11日	才能発見ワーク	桑田	12(2)
2	8月8日	気まずい雰囲気乗り越える雑談のコツ	安田	16(4)
3	9月12日	アサーション～じぶんらしく気持ちを伝えよう～	田中	12(2)
4	10月10日	お金から考える働き方	藤村	14(1)
5	11月14日	働き続けるためのメンタルヘルス	安田	14(0)
6	12月12日	レジリエンス～しなやかに立ち直る力～	岡村	14(0)
7	1月9日	行動を変える習慣化のコツ ～小さなことからコツコツと～	岡村	12(1)
8	2月14日	「聞いて話して考える」働いていない子を持つ親のためのセミナー	山脇	2(0)
			総計	96(10)

町民の参加状況及びその後

	年齢	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	その後
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	
1	43	×	○							B型事業所
2	36	○	○	○	○					ひきこもり
3	31	○	○							不明
4	25		○	○						移行支援
5	48							○		パート

●日程に問題はないか？

例年通り、7月～翌年2月で月1回実施。

月1回がよいペース。

●広報は十分されたか？

例年通り。ちらしを作成し委託元・委託先により関係機関に配布・配架。広報にも掲載。

●内容はよかったか？

- ・参加者に寄り添いながら、丁寧に進められていた。
- ・参加者に身近で興味深い「お金」の話は、そこから派生していろいろな周辺知識を得ることができたと思われる。
- ・グループワークへの参加者の導入の難しさを課題としてあげたが、今年度は丁寧な導入があり解消できた部分が多く、アンケートでも「話しやすかった」「楽しかった」という意見が多かった。
- ・参加者はすべてに参加されるというよりも、自分の興味あるテーマのみに参加されていたように思う。
- ・委託5年目となるが、毎年度、改良を重ねて行う中で、毎回のセミナーの内容もテーマの内容は同じだが、ブラッシュアップされていると感じる。

●事業効果

- ・例年通りの時期・広報・周知であったが、昨年に比べ参加者が少なかった。(理由は不明)
- ・本町のみで行うには参加者が少なく、近隣の誰でもが参加できるセミナーとしなければ成立しないので、駅に近く他市町の人でも参加できるような体制をとれているのはよかった。
- ・他市では、労働部局が就労に向けてのセミナーをしているようだが、本町は障害者も最終的には働くことを目的とすることがあるため、このセミナーを福祉部局で担当している。そのため、周知対象者や関係機関がひきこもりや精神障害者、生活困窮者となってしまうので、就労に繋がるのが少ないと思われる。
- ・就労等に必要と思われるスキルの提供がきちんと行われているので、8回すべてを受けてもらいたい。

●事業評価

- ・参加者はそれなりにあるが、当町の住民の参加者が少ない。(町民の割合は実績を参照)
- ・町民だけでこのセミナーの開催は難しい。
- ・委託先は令和8年度以降できないとのこと。→それでは、今年度で終了とする。
- ・ただし、セミナーという形ではなく、講演会として単発ですることは可能であるとのこと。町には場所だけ確保して欲しい。→場所は確保するので、時々講演会を開催することとなる。

.